

環境振動運営委員会 第3回議事録(案)

- A. 日時 2015年10月5日 月曜日 17:30~19:30
- B. 場所 建築学会 305会議室
- C. 出席者 国松主査 他12名
- D. 提出資料(提出委員名)
- No.3-00 議事次第
 - No.3-01 前回議事録案
 - No.3-02 環境工学本委員会議事録・資料 9/29
 - No.3-03 各小委員会・WG報告, 活動計画(測定分析小委員会)
 - No.3-04 各小委員会・WG報告, 活動計画(性能評価小委員会)
 - No.3-05 各小委員会・WG報告, 活動計画(予測解析小委員会)
 - No.3-06 各小委員会・WG報告, 活動計画(シンポジウム検討WG)
 - No.3-07 各小委員会・WG報告, 活動計画(広報WG)
 - No.3-08 各小委員会・WG報告, 活動計画(戸建て住宅の振動特性WG)
 - No.3-09 各小委員会・WG報告, 活動計画(居住性能評価指針改定小委員会)
 - No.3-10 日本建築学会大会若手優秀発表(環境振動)採点集計結果

E. 議事内容

0. 前回議事録確認(資料 No.3-01)

第1回→第2回に修正
以上をもって承認された。

1. 環境工学本委員会 9/29開催報告(資料 No.3-02)

報告事項

- ・ II.1 (1) 居住性能指針の在庫 125 部。
- ・ II.1 (2) eラーニング+5.2万円, 2014年度シンポジウム+16.5万円
- ・ II.1 (3) 委員会活動計画など締切 10/23
- ・ II.1 (4) 環境振動関係研究協議会(PD)
時間の希望, 第一希望: 初日 PM, 第2希望: 2日目 AM, 締切 11/9
- ・ II.1 (5) 環境振動設計ガイド策定小委員会 3名承認
- ・ II.2 技術部門設計競技は構造・環境を交互に継続
- ・ III.1 (1) 教育賞推薦候補者: 音環境九大藤本先生。
- ・ III.2 (1) 卒論等・・・委員: 音環境から推薦(締切 10/23)
- ・ III.4 大会 AIJ デジタルライブラリー 1年経過後に会員限定無償公開
- ・ III.5 2016大会: 細分類などの変更, OS 締切 11/20
- ・ III.6 (5) 制定から5年を経過した建築学会環境基準の取り扱い
一覧表により確認を行っている。
- ・ III.11 2016年度予算配分方針は前年度と同様
- ・ III.12 若手表彰を止めたいという発言あり(煩雑, 効果が把握しづらい)
→まだ1回しか行っていないので, 継続した方が良いという意見が多数
- ・ IV.1 予算の執行状況
各小委員会の予算の枠内で進めること。

2. 各小委員会・WG活動報告

2-1. 測定分析小委員会(資料 No.3-03)

- ・ 7/15 開催分について，議事録に基づく報告があった。
- ・ 技術報告集に投稿予定（鉄道振動関連，永関邸）
- ・ 今年度は建築研究所（つくば）の建物で計測予定
- ・ 測定分析マニュアル検討 WG（6/29，9/28 開催，次回 12/3）
アンケートを分析，目次案検討中，2 年後にマニュアル公開（シンポジウム）
→ 投稿料の費用負担は？ 筆頭者が負担している。
- ・ 次年度活動計画案（小委員会，WG）を説明
→ 活動の着眼点は？ → 基本的なデータ（標準）を蓄積していきたい。
→ 固体音の測定法マニュアルの内容を含めて測定分析マニュアル作成を進めてほしい。
→ 測定分析マニュアルは実務者向けに検討を進めている。
→ 評価指針に対応する形で測定マニュアルがよいのではないか。
→ マニュアル WG，評価指針などがきちんと連携した方がよい。
→ 現在、刊行物にする予定は無い

2-2. 性能評価小委員会活動報告（資料 No.3-04）

- ・ 活動報告は特になし
- ・ 次年度活動計画案を説明

2-3. 環境振動予測解析小委員会活動報告（資料 No.3-05）

- ・ 6/25，8/25 開催分について，資料に基づく報告があった。
- ・ シンポジウムでアンケートを実施したい（予測解析に関して困っていることを集める）
→ アンケートはシンポジウム当日に配布すればよい
→ アンケートの内容は簡単で絞った方がよい。設計者が多いと思われる。
- ・ 次年度活動計画案を説明
→ 計画は昨年度計画から現状に合わせて変更する。→ 了承

2-4. 環境振動設計ガイド策定小委員会活動報告

- ・ 10 月末～11 月初旬に開催予定。
- ・ 次年度活動計画案の作成を依頼

2-5. シンポジウム検討 WG（資料 No.3-06）

- ・ 実施計画書に基づきシンポジウム案を報告
→ 次回 WG は 10/27（講師打ち合わせ）
- ・ 次年度活動計画案を説明（次年度講演内容は指針改定が主になる）

2-6. 広報 WG（資料 No.3-07）

- ・ 次年度活動計画案を説明

2-7. 広域評価モニタリング WG

- ・ 次年度活動計画案の作成を依頼

2-8. 戸建て住宅の振動特性 WG（資料 No.3-08）

- ・ 地震時、微動による振動特性と比較しながら環境振動レベルでの建物の固有振動数について文献調査を通して確認していきたい。

2-9. 居住性能評価指針改定小委員会（資料 No.3-09）

性能評価法検討 WG 活動報告

- ・配布資料に基づき評価指針の改定内容案の報告
- これまでの指針を踏襲する
- 継続時間が短い場合は、評価曲線が上にずれる方向（ボーナス）で進めている。
- ・次年度活動計画案を説明
- ・刊行予定書を説明
- ・企画刊行運営委員会傘下の小委員会が必要（新設届+活動計画書が必要）
- ・環境振動運営委員会傘下の小委員会も必要（2017/3 まで継続）
- ・刊行物は B5 であるが、近年は A4 になっている。
- ・大会 PD の所管は運営委員会とする。

3. 若手優秀発表について（資料 No.3-10）

- ・資料に基づき、審査結果を報告
 - 1 位：福田優輝（竹中工務店）、2 位：黒田瑛一（東京工業大） 表彰 2 名→了承（問題点）
- ・質問がない場合、どうするか？
- ・セッションごとにまとめて質疑か発表ごとに質疑かで異なる。
- ・総合をなくして 5 段階（25 点満点）でどうか？→この方向で次年度実施する。
- ・田中委員の審査結果が集計に反映されていない
 - 追記した採点結果を最終にする（表彰者は変わらない）。

・今後の委員会開催予定

2 回目	2015 年 06 月 15 日（月）	17：30～	建築会館	（済）
3 回目	2015 年 10 月 05 日（月）	17：30～	建築会館	（済）
4 回目	2015 年 11 月 30 日（月）	17：30～	建築会館	
5 回目	2016 年 02 月 05 日（月）	10：00～	建築会館	

以上